

新潟県地域づくり巡回講座

にいがた旬塾2016

参加費無料

リノベーションまちづくり

～空き店舗・空き家を人の集う場所へ～

2016年6月2日(木)～14日(火) 県内5会場で開催!

話題の“地域づくり仕掛人”の方々から経験談を伺い、あなたの街にも活かしてみませんか?



株式会社テラスオフィス
高岡はつえさん(新潟市)

空き店舗
×
商店街
阿賀野市
三条市



合同会社燕三条スタイル
小山雅由さん(三条市)

空き店舗
×
地場産業
(ものづくり)
南魚沼市



ギルドハウス ギルドマスター
西村治久さん(十日町市)

空き家
×
シェアハウス
ゲストハウス
新潟市北区
妙高市

日時・会場

時間:平日(18:30～20:30) / 土曜日(13:00～15:00)

6月2日(木) / 阿賀野市 / 水原公民館 / 高岡はつえさん

6月4日(土) / 南魚沼市 / 南魚沼市ふれ愛支援センター 1F研修室 / 小山雅由さん

6月7日(火) / 新潟市北区 / 北地区コミュニティセンター 講座室1 / 西村治久さん

6月11日(土) / 妙高市 / 妙高市勤労者研修センター 研修室A / 西村治久さん

6月14日(火) / 三条市 / 燕三条地場産業振興センター リサーチコア6F 研修室3 / 高岡はつえさん

※駐車場状況が各会場により、変わりますのでご注意下さい。

講座内容

第1部: 講演「リノベーションまちづくり～空き店舗・空き家を人の集う場所へ～」

第2部: 2016年度 地域社会創造助成事業のご紹介 <プレゼンター:(一財)新潟ろうきん福祉財団>

第3部: 地域づくりの情報交換会 <進行:新潟県NPO・地域づくり支援センター>

第4部: 「にいがた NPO 情報ネット」「さんかくむすび」の紹介

参加申し込み・お問い合わせ

新潟県NPO・地域づくり支援センター

TEL:025-283-8686 (開所時間:月～金9:00-18:00)

申し込み方法の詳細は裏面へ▶

所属団体名		
氏名 (複数記載可)		団体内の役職
連絡先	住所	
	TEL	E-Mail
参加したい会場 (番号に○)	<p>1 6/2(木) 阿賀野市/水原公民館 (講師:高岡はつえさん)</p> <p>2 6/4(土) 南魚沼市/南魚沼市ふれ愛支援センター 1F研修室 (講師:小山雅由さん)</p> <p>3 6/7(火) 新潟市北区/北地区コミュニティセンター 講座室1 (講師:西村治久さん)</p> <p>4 6/11(土) 妙高市/妙高市勤労者研修センター 研修室A (講師:西村治久さん)</p> <p>5 6/14(火) 三条市/燕三条地場産業振興センター リサーチコア6F 研修室3 (講師:高岡はつえさん)</p> <p style="text-align: right;">時間:平日(18:30~20:30) / 土曜日(13:00~15:00)</p>	

【申込方法】

各会場開催の3日前までに、上記項目(氏名・住所・TEL・E-Mail・参加したい会場)を記載の上、FAXまたはE-Mail、ホームページの予約フォームからお申し込みください。定員は各会場30名程度(先着順)です。

新潟県NPO・地域づくり支援センター(開所時間:月-金 9:00~18:00)

〒950-0994 新潟市中央区上所2-2-2 新潟ユニゾンプラザ1F

TEL 025-283-8686 / FAX 025-281-0014 / E-Mail info@nponiigata.jp

※申し込み後3日経っても受付確認の連絡がない場合は、お手数ですがお電話にてご確認下さい。

【講師プロフィール】



株式会社テラスオフィス 統括マネージャー
高岡はつえ

新潟市沼垂出身。銀行・貿易会社勤務を経て、実弟でありテラスオフィス代表の田村寛氏からビジネスパートナーとしての誘いを受け2015年4月、「沼垂テラス商店街」を誕生させる。現在、二人三脚で商店街運営や地域活性化に携わる。同商店街は2016年1月、地域活性化に挑む全国の団体を支援する「地域再生大賞」の準大賞を受賞。



合同会社燕三条スタイル 代表
小山雅由

埼玉県出身。早稲田大学政治経済学部を卒業後、すぐに起業するが失敗し、挫折を経験。一時、休業状態とし、経営者のカバン持ちなどをしながら、実践的な経営を学ぶ。その後、金属加工で有名な新潟県燕三条地域と出会い、2011年に燕三条に移住。そして、2014年10月メーカー、クリエイターとユーザーが繋がる場「燕三条トライク」をオープン。また移住体験施設「Craftsmen's Inn KAJI」を運営している。



ギルドハウス ギルドマスター
西村治久

埼玉県出身。2015年5月に新潟県十日町市へ移住し、住み開きの古民家「ギルドハウス十日町」を設立。山奥の限界集落に1年間で国内・海外から延べ3,000人が訪問。また、世界的な起業家コミュニティの新潟版「Startup Weekend Niigata」代表を務め、地方で起業家を生む活動もしている。